

# ご議論いただきたいこと（例①）

あるべき姿に向けて新たに取り組むべき対策としてどのようなものがあるか。

## 1 プラチナナースの活用に向けて

### 現状 ・ 課題

年齢階級別の看護職員従事者数によると、高齢期の看護職員の就業が進んでいることが明らかとなっている。

現役世代が急減する中で、看護サービスの需要の増大に対応していくためには、プラチナナース（定年退職前後の看護職）の就業を推進していくことが必要である。

### 県の取組 ※一部抜粋

- ✓ 県広報などを活用して看護師等の離職時等の届出制度の啓発
- ✓ ナースセンターの無料職業紹介  
【参考】令和5年度：ナースバンク事業内での就職者430人（年齢不明）
- ✓ 退職後の働き方等に関する研修を実施  
【参考】令和5年度：計33人参加
- ✓ 県外医師・看護職員確保推進のためのWebサイトを構築中（令和6年度～）

### あるべき姿

プラチナナースが自己のキャリアを生かし活躍している

# ご議論いただきたいこと（例②）

あるべき姿に向けて新たに取り組むべき対策としてどのようなものがあるか。

## 2 看護職員の離職防止・定着促進について

### 現状 ・ 課題

新卒・正規雇用看護職員の離職率は、全国と比較して低い傾向にあるが、令和3年度以降、増加傾向にある。

医療機関等の勤務環境改善の取組を支援するとともに、スキルアップの機会を提供することで、離職防止並びに資質向上を図る必要がある。

### 県の 取組

※一部  
抜粋

- ✓ 医療機関等へアドバイザーを派遣
- ✓ 多様な勤務形態の導入に関する医療機関からの相談、さまざまな悩みや不安を抱える看護職員からの相談への対応
- ✓ 看護職のキャリア継続や職場風土改善のための研修を実施  
【参考】令和5年度：計97人参加
- ✓ 病院内保育所の運営費を補助  
【参考】令和5年度：計27施設に補助
- ✓ 役職や分野ごとにスキルアップのための研修を実施
- ✓ 「女性が働きやすい医療機関」認証制度を実施

### あるべき 姿

看護職員が働き続けられる環境が整っている

# ご議論いただきたいこと（例③）

あるべき姿に向けて新たに取り組むべき対策としてどのようなものがあるか。

## 3 看護学生の確保に向けて

### 現状 ・ 課題

18歳人口の減少に伴い、看護師等学校養成所の定員充足率は低下傾向にある。そうした中、看護職員の需要数は、令和22（2040）年に向けて増加していくものと推計されている。

看護職員の就学者の確保対策を講じていく必要がある。

### 県の 取組

※一部  
抜粋

- ✓ 中学生以下を対象として商業施設等で看護職の仕事紹介を実施
- ✓ 「みえ看護フェスタ」では、高校生と保護者を対象として看護職の仕事紹介や体験、看護師等学校養成所のPRブースを設置
- ✓ 高校生向けにオンラインによる看護体験を実施  
【参考】令和5年度：25校から生徒325人・教員37人の計362人参加
- ✓ 金銭的な負担を軽減するため、看護師等修学資金貸与制度を運用  
高校の進路指導教員が集まる会議で周知、高校等にチラシを配布

### あるべき 姿

看護職に関心のある方や、看護の道に進む方が増える